

図書館からのおすすめの本



家で過ごす時間が多い今、学生の皆さんにおすすめしたい本（第2弾）を紹介します。

『大村智 2億人を病魔から守った科学者』

馬場 錬成

2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞し、感染症などの解明に貢献する大村智。夜間高校の教諭から始まり、美術にも造詣が深いその人物像を描く作品。

『大河の一滴』

五木 寛之

人はみな大河の一滴。究極のマイナス思考から出発したブッダや親鸞の教え、平壤で敗戦を迎えた著者自身の経験からたどり着いた強く生き抜くための人生論。

『蝉しぐれ』

藤沢 周平

舞台は東北の小藩、海坂藩。政変に巻き込まれて父を失い、家禄を減らされた少年牧文四郎の成長、隣家の武家娘ふくとの淡い恋を描いた藤沢周平の代表作。

『それからスープのことばかり考えて暮らした』

吉田 篤弘

サンドイッチ屋で働くことになったぼくは、オリジナルスープを考案することに…。みんなの心の中にある“なつかしい町”を舞台に繰り広げられる心優しい物語。

『クラシックホテル案内』


甲斐 みのり

日本各地の華やかでかわいらしい、上品なクラシックホテルを紹介。ゆったりとした時間を感じながら、見ているだけで心ときめき、ノスタルジックな世界に浸れます。

『ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」』

荒木 香織

ラグビー日本代表メンタルコーチとして、ワールドカップの快進撃を支えた著者の著作。最新のスポーツ心理学から導き出されたメンタルの鍛え方を説く作品。



※図書館に所蔵していますので、貸出できます。ご希望の際は、事前予約をお願いします。